ひばりっこだより

vol.36　　3月号

先日春分の日に「第3回卒園式」が行われ、17名の園児が卒園しました。開園した頃は、幼児クラスの一番下の学年で、保育士から離れなくて泣いていた子も年長になりしっかりとした面持ちで、3年間の成長を見せてもらいました。毎年、卒園児を送らせて頂いていますが、いつも思うことは、お父様・お母様もお子さんと共に成長し、頑張りましたね！ということです。子どもの成長と共に「親」になっていきますよね。これから先も「親」は続きますが、振り返ると5年前・10年前とは違う「親」になっていることでしょう！これからも応援しています。

園では、年長さんが乳児クラスに遊びに来てくれて、着替えのお世話やお仕度などを見てくれたりしています。そんな姿もあれば、保育士に甘える姿も♪子どもたちなりに何かを感じながら過ごしているなと思います。

今年度も保育園の運営にご協力頂きありがとうございました。至らない事もあったとは思いますが、保護者の皆様からのご意見を糧にまた次年度も職員一同、一生懸命努めて参りたいと思っています。

mayu

ひなまつり

幼児クラス（3，4，5歳児）では、ホールで「ひな祭り会」を行いました。紙芝居でのお話や「ひな祭りクイズ！」をしました。知っている事でもクイズで当たると「よし！！」と大喜びの子どもたちです。

ひな祭りメニューでは、ちらし寿司に「菜の花」が入っていて、給食の職員がメニューボードに「菜の花」を飾ってくれました。ちょっとした気持ちが嬉しく、子どもたちは菜の花のちらし寿司は残す子も多かったようですが、季節のもので行事食、経験しないと食べるようにならないので「目で見る事」「触れる事」からの食育も大事だと考えています。給食の職員の思いも時々メニューボードに表れていますので、ご覧になってくださいね！

ひばりっこ 各クラス担任より

一年を振り返って

つくし

入園当初、新しい環境や保育者に慣れず、泣いていることが多かったつくし組さん。あっという間に園生活にも慣れ、かわいい笑顔をたくさん見せてくれるようになりました。

歩けるようになったり、おしゃべりができるようになったり、身の周りの事を自分でやろうとしたり･･･様々な場面で子どもたちの成長を感じました。また、”0歳児クラスでもこんなことができるんだ！！”と驚かされたことも沢山あります。そんな子どもたちの姿ひとつひとつに近くで関われた事をとても嬉しく思います。これからの成長も楽しみです。

1年間ありがとうございました。

なでしこ

1年を通して元気いっぱいななでしこ組さん！体操や園庭遊びなどいつもニコニコで楽しく過ごしていました！

4月の時は1人ではできなかった洋服の着脱など、出来ることも少しずつ増えていきました。ともだちとの関わりも増え、日々成長を感じた1年でした。

これからも皆の成長を楽しみにしています！

たんぽぽ

4月から子ども同士での関わりも多く、笑顔でともだちと遊ぶことが多かったたんぽぽ組さん。ピンク帽子さんは青帽子さんのお世話を沢山してくれ、一緒に遊ぶ中で青帽子さんもとてもお話が上手になりました。

1年間で沢山成長しましたね。これからもみんなの成長を楽しみにしています。

さくら

子どもたちの”やりたい！”がたくさん出た1年でした。交通安全教室の後の自動車作りから始まり、恐竜の世界やクリスマスのそり、宇宙をテーマに子どもたちとアイデアを出し合い楽しめました！想像力が豊かな子どもたちのアイデアは無限大！！これからもたくさんの”やりたい”から楽しい毎日にして欲しいと思います！

ゆり

この1年間子どもたち1人ひとりが自分のできる事、やりたい事にじっくりと取り組めるよう見守ったり、お手伝いをしてきました。「できないから手伝って！」「どうしたらいいかな？」「〇〇がやりたい」等、子どもたちからの声も大切に過ごしてきました。できるようになった時、やり遂げた時、好きな洋服を着てきた時（笑）などなど･･。

「見てみて！」と輝かせている目が大好きでした。1人ひとりが自分のペースで大きくたくましく成長した姿に嬉しさを感じるこの頃です。

1年間、ご理解ご協力ありがとうございました。

開園して3年が経ち、職員も保育の方向性を考えながら子どもたちと向き合えるようになってきました。毎日の中で、子どもたちの小さな成長や喜びのエピソードを聞き、子どもたちに寄り添い、どのようにしたら子ども自身がやりたいと思えるのか・・など、研修を通して学ぶ機会もあり、職員の意識も変わってきてると感じています。これからもお子さま、ご家庭の支援ができるように共に学んでいきたいと思います。

園長　田尻　真由美

～子育てメッセージ～

すべてを包み込んでくれる人
ゆっくりと、やさしく流れる時間
あたたかい日だまりのある場所
そこが、心の帰るところ

乳幼児の育ちには、無条件に幸福を実感できる関係が欠かせません。大人になってから、あの子ども時代に戻ってみたいと思えるような、あたたかで、やわらかく、幸せな時間を子どもと一緒に手づくりしてみませんか。

「心の帰るところ」を持っている人は、怒りや批判や注文ばかりの人生を歩くことは、きっとないでしょう。

（公社）全国私立保育園連盟より